

案

下田市子ども読書活動推進計画

— 第三次計画 —

令和4年 月

下田市教育委員会

目 次

第1章 基本的事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・ |

1 計画策定の趣旨

2 計画の期間と対象

第2章 子どもの読書活動の現状と課題・・・・・・・・・・ 2

1 発達段階ごとの特徴

2 子どもの読書活動の現状と課題

第3章 具体的な取組み・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6

1 基本方針

2 読書活動への取組み

参考資料・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | |

1 下田市子ども読書活動推進計画（第二次計画）達成状況・・・・・・・・ 12

2 下田市子ども読書活動推進計画（第三次計画）努力目標・・・・・・・・ 13

3 読書に関するアンケート集計結果・・・・・・・・・・・・・・・・ 15

4 子ども読書活動の推進に関する法律・・・・・・・・・・・・・・・・ 29

5 下田市子ども読書活動推進計画策定委員会委員名簿・・・・・・・・ 32

第1章 基本的事項

1 計画策定の趣旨

子どもの読書活動は、「子どもの読書活動の推進に関する法律(平成13年法律第154号)」第2条の基本理念において、次のように定義されております。

「子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、想像力を豊かにし、人生をより深く生きる力を身につけていくうえで欠くことのできないものであることをかんがみ、すべての子どもがあらゆる機会と場所において自主的に読書活動を行うことができるよう、積極的にそのための環境の整備が推進されなければならない。」

この法律に基づき、国は、「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画第四次基本計画(平成30年4月策定)」を策定し、読書習慣の形成に向けて発達段階ごとの効果的な取組みと、友人同士で行う活動等を通じ、読書への関心を高めることを主な方策に示しています。

また、静岡県は「読書県しずおか」の構築を目指し、「静岡県子ども読書活動推進計画第三次計画(「本とともにだち」プラン)(平成30年3月策定)」において、県民ひとりひとりが生涯を通じて読書を楽しむ習慣の確立の具体的実践に向け、取組みを進めています。

これらを受けて下田市では、平成20年3月に「下田市子ども読書活動推進計画(第一次計画)」、平成25年3月に「下田市子ども読書活動推進計画(第二次計画)」を策定し、関係機関と協働しながら読書環境の整備を推進してきました。

この度の「下田市子ども読書活動推進計画(第三次計画)」(以下「本計画」という。)は、国・県の計画の方針を鑑み、本市の第一次及び第二次計画の基本的な考えを継承しながら進めるための計画とします。また、障害によって読書が困難な人々の読書環境整備を目指す「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律(令和元年6月)」(読書バリアフリー法)の施行も踏まえ、引き続き読書環境の整備を進めます。

本計画は、「第5次下田市総合計画」における教育分野の施策の方針や、「下田市教育大綱」を踏まえ、読書環境及び読書活動の充実を図り、子どもの未来に生きる「力」をつけるための取組みの一つと位置付けます。

2 計画の期間と対象

本計画は、令和4年度から令和13年度までの10年間とし、令和8年度末を目途に、計画の進捗状況等を踏まえ、見直しを図ります。

計画の対象は、概ね18歳以下の子ども(以下「子ども」という。)と、子どもの読書に関わる関係者及び関係施設(保護者、園、学校、地域、図書館等)とします。

第2章 子どもの読書活動の現状と課題

Ⅰ 発達段階ごとの特徴

読書活動の推進には、子どもの成長に合わせて読書の楽しさを伝えられるような働きかけが大切です。本の世界に触れ、読書を好きになることで、自主的な読書活動に向かうよう、発達段階における特徴を踏まえつつ、子ども一人一人の個性や発達状況に留意が必要です。

(1) 乳幼児期 ～はじめての本とのふれあい～

乳幼児期の子どもは、身近な大人から本との出会いの機会を与えられます。

好きな人の膝の上で安らぎと安心を感じながら読み聞かせをしてもらうことで、感受性は豊かになり幸せな時間を共有します。



(2) 小学生 ～自分で読めるようになり、読書の幅を広げる～

小学生になると、授業の中で本を読み、調べ物に使うことで、読書の仕方や読書の幅が広がっていきます。

低学年では語彙量が増え、中学年で初歩の読書技術が身につく、読む速度が上がることで、多くの本を読めるようになります。高学年になると、自ら本の選択をして、物語の良さを味わうことができるようになります。



(3) 中学生 ～共感できる内容、将来を考えるための読書～

中学生頃に子どもの読書技術は成熟を迎えます。

たくさん読むよりは、共感し感動する本に出会うと何度も読むようになります。

また、将来を考えるようになる時期でもあるので、自分の生き方について考えるための本を読むようになります。



(4) 高校生 ～知的興味に応じた幅広い読書～

高校生頃になると、読書の目的や資料の種類に応じた幅広い読書ができるようになります。様々なことに対し、強い興味や関心を持ち、読書活動にも好き・嫌いが存在するようになると、好みの作家やジャンルがはっきりするようになり読書に個性が現れます。



2 子どもの読書活動の現状と課題

(1) 家庭における子どもの読書活動

この10年間で子どもをとりまく家庭環境は、進む核家族化、保護者の共働きの増加に加え、放課後や土日の習い事や塾に費やす時間の増加で、親子がゆっくり過ごす時間が減少しているのが現状です。また、スマートフォンやタブレット、通信ゲーム機等の通信メディアが飛躍的發展と普及をし、子どもの趣味や遊びにも様々な情報メディアが浸透しました。インターネットから取得する膨大な情報があふれ、ゲームや映像の視聴に費やす時間が増加することが、子どもの読書離れに大きな影響を与えています。

アンケートでは、「1週間に1度は家庭で本に親しむ」子どもの割合は、5歳児は72.1%、小学生は82.3%、中学生は47.6%、高校生は25.1%という結果でした。平成24年のアンケート時は、5歳児が84.6%、小学生が87.2%、中学生が92.0%だったことから子どもの読書離れが進んでいることがわかります。

家族の団らん時間を確保し、読み聞かせや本を介した会話を楽しむことは、家族の絆を深める手段として重要な役割を持っています。学校や図書館等の連携により、家庭での読書の重要性への理解促進のため、保護者への周知や支援に取り組むことが課題です。

(2) 保育所、幼稚園等における子どもの読書活動

園では絵本の読み聞かせを日常的に取り入れ、子どもが絵本や物語に親しむ機会を積極的に増やしています。乳幼児の興味を引き付ける絵本等を、いつでも読むことができる環境整備が必要ですが、多くの園では図書室がなく、家庭へ貸出できる絵本などが不足しているのが現状です。

また、家庭により読書への関わり方に差があるため、園から家庭に戻ったあとの読書活動への支援が行き届いていません。アンケートでは、「0～6歳までに週3回以上読み聞かせをしてもらった」子どもの割合は、5歳児は34.4%、小学生は43.2%、中学生は49.2%、高校生は64.0%という結果となり、平成24年のアンケート時は、5歳児が43.6%、小学生が54.3%、中学生が41.7%と低下している現状です。より多くの家庭で一層の理解促進に繋がるよう、おすすめ本の紹介や読み聞かせについてのアドバイス等、活動を工夫し新たな取組みを検討し、さらなる啓発をしていくことが課題です。

（３）学校における子どもの読書活動

学校は、読書量を増やすことだけでなく、子どもの読書活動を支援し読書指導を充実すること、読書の質を高めていくための役割を担っています。

小・中学校では、各教科や総合学習における調べ学習など、学習の中でも学校図書室の資料を活用しています。アンケート結果では、読み聞かせや朝読書などの取組みが定着し、子どもたちが落ち着いて本に向かう習慣がついていることが読み取れます。その他にも、子どもが楽しく読書に取組む活動を工夫して行っており、家庭ではあまり本を読まないが、学校では本を読んでいるという子どもが多いのが現状です。

本を読みたいと思わなかった理由について、「テレビやユーチューブの方が楽しいから」、「マンガの方がおもしろいから」と答えた子どもがどの年代も多く、成長に伴い、趣味や興味の範囲が広まり、それにより読書への関心度が低くなる傾向にあります。

情報メディアとのバランスを取りながら読書習慣の定着を図ることが一番の課題です。情報メディアとの上手な付き合い方を、子どもたち自身が選択できるようになるために、いくつかの学校で実践しているノーメディアデーなどの取組みを、今後は、各学校へ浸透させていく段階にあります。

また、まちに書店が少ない現状では、子どもが身近に本と出合うことができる学校図書室の充実が重要となります。現在は、小・中学校全体の 11 校に対し 2 名の学校司書で環境整備等を行っていますが、学校図書室に学校司書が常駐し図書室を毎日開館することで、子どもの読書への興味が大きく変わったという事例もあるため、学校司書の各校 1 名の配置が課題です。

（４）地域における子どもの読書活動

地域住民や保護者が、ボランティアとして学校や園での読み聞かせや図書室の整備に参加している地域もありますが、かかり方は地域によって差があることが現状です。アンケートでは、園は 33.3%、小学校は 85.7%、中学校は 25.0%、高校は 0%、特別支援学校は 100%が、図書整備ボランティアや読み聞かせボランティアの活用や協力体制の構築をしていると回答しています。

また、アンケート結果からわかるように、家の近くや学校の近くなど、気軽に立ち寄れる場所に図書館を望む子どもが多い一方で、身近なところで読みたいときにすぐ本を手にすることができる環境が不足しているのが現状です。市立図書館を中心に、青少年健全育成会等関係団体や園、学校、放課後児童クラブ等が連携し、各地域における読書環境のさらなる充実が望まれます。

（５）図書館における子どもの読書活動

図書館の利用頻度についてアンケート調査したところ、どの年代も「１年に２～３回」が最も多く、次に「利用したことはない」という結果でした。小・中学生は「もっとたくさんの本が欲しい」、「ゆっくり本を読める場所が欲しい」と回答し、中・高校生は「静かに勉強や調べ物ができる場所が欲しい」、「友だちとおしゃべりできる場所が欲しい」と答えています。本の貸出し以外の機能を重視した、交流やくつろぎの場として、親子で行きたくなる、使いやすく魅力ある図書館が理想ですが、残念ながら新施設の整備は実現していないのが現状です。

また、耐震性がなく、施設・設備ともに老朽化が進んでいることに加えて、極端に少ない駐車場により、親子で図書館に来ても車が停められずに来館できなかったこと、子どもと一緒に靴を脱いで絵本を読むスペースが欲しい、静かすぎて子どもを連れて行きにくいことなどの意見が多くありました。

子どもの年齢や発達、特性の違い、障がいの有無にかかわらず、すべての子どもの読書活動を支える環境の整備が求められている中、現状の図書館では、サービスを提供する場所も不足している現状です。

子どもたちに読書の楽しさを伝えるためにも、新図書館建設の早期実現により、図書館全体から夢と未知の世界観を伝えることができるよう、利用しやすく行きたいと思う新たな図書館整備を目指します。

第3章 具体的な取組み

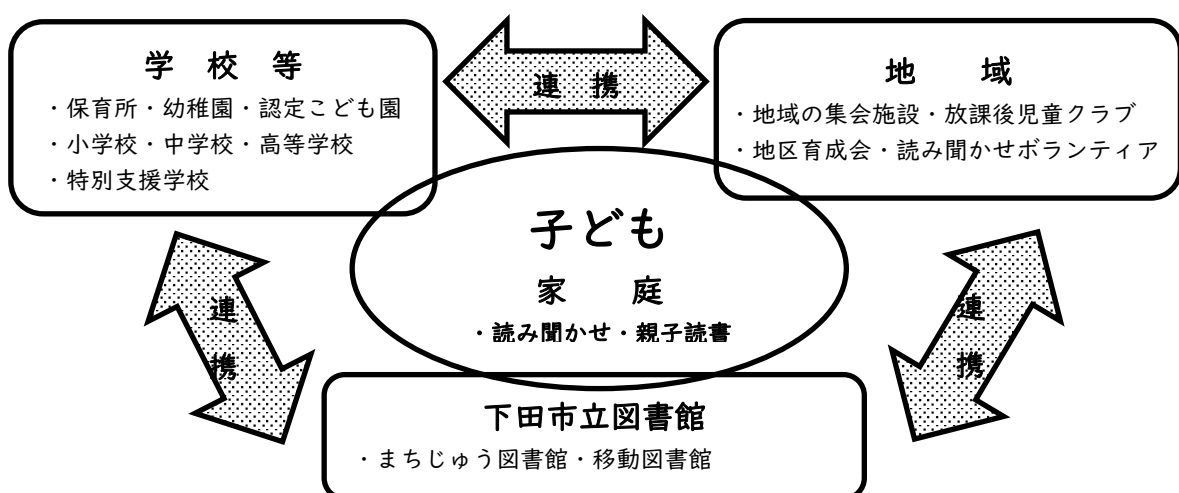
Ⅰ 基本方針

「与えられる読書」から「自主的・主体的な読書」へ

すべての子どもが、あらゆる機会とあらゆる場所において、自ら進んで読書を楽しむ習慣を身に付け、生涯にわたり本とともに歩んでいけるよう、発達段階に応じた読書環境の整備、読書機会の提供及び読書活動の啓発に取り組んでいきます。

- (1) 子どもたちが「私の好きな1冊」を言えるよう、乳幼児期からの読書の楽しさに触れる機会を創出します。
- (2) 家庭・地域・学校・図書館等が連携した子どもの発達段階に応じた読書活動への取組みの充実を図ります。
- (3) 大人になっても読書を楽しみ、次の世代に読書の楽しさを伝えられるよう、読書活動の意義や有効性を伝える取組みに努めます。
- (4) 読書環境の整備を図ります。

家庭・地域・学校を通じ、下田市全体で取り組む



本を通じて、下田の将来を担う子どもたちの未来を切り開く
読解力や想像力、思考力、表現力等を養う
多くの知識を得たり、多様な文化を理解することができるようになる
自ら学ぶ楽しさや知る喜びを体感→更なる探求心や心理を求める態度が培われる

2 子どもの読書活動への取組み

本計画の4つの基本方針に沿って、家庭、地域、学校それぞれにおける取組みを、相互の連携・協力を伴い、下田市全体で推進していきます。

取組みのあとの(○)は、4つの基本方針のカッコ内の数字を表しています。

☐☐家庭における子どもの読書活動☐☐

【今後の取組み】

- ① ファーストブック事業の継続と充実
 - ・ 市内関係各課と連携してファーストブック事業の充実に取組みます。(1・3)
 - ・ フォローアップとしてセカンドブック事業の実施に取組みます。(1・3)
- ② 子どもと保護者への読書活動支援
 - ・ 読書を通じた家族のコミュニケーション構築のため、親子読書や家族ぐるみの読書を推進します。(1・3)
 - ・ 読書活動に家族みんなで関われるよう、家族全体で、本の楽しさや本を通じた子どもとの関わり大切さを周知し推進していきます。(1・3)
 - ・ ノーメディアデーなど、家庭での読書しやすい環境づくりを提案、推進します。(4)
- ③ 読書機会の充実
 - ・ SNSなども活用しながら、ブックリストの作成、配布により、選書に迷う保護者の支援に努めます。(2・4)
 - ・ 本や読書と結びつきが薄い家庭への読書の啓発として、身近な地域で図書を利用できる場所と機会づくりを、学校や地域ぐるみで増やす活動に取組みます。(2・4)
 - ・ おはなし会などの親子で参加するイベントの充実を図り、読み聞かせの楽しさ、本を通じた家族の触れ合いの機会の提供に努めます。(1・2)

☐☐保育所、幼稚園等における子どもの読書活動☐☐

【今後の取組み】

- ① 興味や関心に応じて読書を楽しめる活動の推進
 - ・ 市立図書館の団体貸出も活用しながら、図書コーナーの環境整備と図書資料の充実に努め、家庭への本の貸出を実施します。(1・4)
 - ・ 読み聞かせでは、さまざまな人に参加の機会を設け、いろいろな種類の本に子どもたちが出会える機会づくりに努めます。(1・2)
 - ・ パネルシアターや劇など、子どもが読書への興味を高める手法を効果的に取り入れ、読書への興味や関心を高める活動を行います。(1・2)

② 地域や保護者と一緒に読書に親しむ活動の推進

- ・子どもが本に親しむ機会を増やすため、地域のボランティアや、保護者ボランティアとの連携を強化し、園における読書活動の幅を広げます。(2)
- ・地域の中・高校生による保育実習など、読み聞かせ体験を積極的に受け入れます。(1・2)
- ・園での読書活動の様子等を保護者に伝えることで、読書が子どもに与える効果と重要性を伝え、家庭での読書活動の推進に努めます。(2・3)

☐☐学校における子どもの読書活動☐☐

【今後の取組み】

① 読書習慣の定着を図ります

- ・豊かな心と感性を育む基盤として、読書活動を充実させ、一斉読書や読み聞かせ、友達同士で読書への関心を高める取組み等を通して、読書の楽しさを伝え読書習慣の定着に努めます。(1・2・3)
- ・読書推進月間等、集中的に読書に取り組む期間を設け、学校と家庭が連携し読書の定着に取り組めます。(2・3)

② 読書環境の整備に努めます

- ・郷土を知る学習に役立つよう、地域資料を積極的に収集します。(2・3)
- ・学校図書室の魅力化を図ります。行きやすい図書室、行きたいと思う図書室を目指し整備に努めます。(4)
- ・子どもたちの動線上の図書室以外の場所（特に教室）にブックリストの掲示や、図書の展示、紹介など積極的に行い子どもたちの興味を引き出すよう努めます。(1・2・4)
- ・子どもが読みたいと思う本の充実のため、子どもの目線に立った選書に努めます。(1・4)
- ・調べ学習用図書や教科活動で使用する資料は、古い情報を与えないよう、社会状況に応じて更新していくことが求められます。市立図書館とも連携し、学習内容と関連する読書資料の充実した図書館整備に努めます。(4)
- ・特別な支援が必要な子どもや保護者が読書活動を行うための支援に努め、市立図書館や他校とも連携し読書環境の整備に努めます。(2・4)

③ 保護者や地域への理解促進に努めます

- ・学校だよりや図書室だより等の活用や、ノーマディアデー、ペア読書への取組み等PTA活動や学校行事を通じ、家庭や地域での読書活動への理解や関心を深めます。(2・3)
- ・地域や保護者ボランティアによる学校図書館整備への協力支援体制を強化し、地域みんなで子どもの読書環境の向上に努めます。(1・2・3・4)

- ・市立図書館や園、福祉施設での生徒の職場体験において、読み聞かせ等、読書ボランティア体験の機会を積極的に設けます。(2・3)

④人材育成に努めます

- ・学校図書室を利用した教育活動の充実を図るため、学校図書館司書をすべての学校に配置します。また、司書教諭や学校図書館司書への研修の充実、教員との連携により、子どもたちに質のいい読書活動を提供します。(2・4)
- ・教員、ボランティア、市立図書館等、子どもの読書活動に関わる関係者（機関）が情報を共有し、それぞれの子どもの特長や読書レベル、家庭環境等に応じて、選書やアドバイス等適切な対応ができるよう支援体制を整えます。(1・2・3)

☐☐地域における子どもの読書活動☐☐

【今後の取組み】

- ① 子どもたちの身近な地域で読書ができる機会と場所の提供に努めます
 - ・各小学校単位で地域に「まちじゅう図書館」制度が広がるよう、地区の集会所などでの「まちの図書館」の実施を検討します。(4)
- ②学校図書室や関係機関との連携、支援に努めます
 - ・地域や保護者ボランティアによる学校図書室整備への協力を積極的に行い、地域みんなで子どもの読書環境の向上に努めます。(4)
 - ・地域の園や学校等での読み聞かせボランティア活動を推進します(1・2)
- ③ 子どもたちが郷土を知る活動に努めます
 - ・地区の育成会等地域住民が主体で、図書館の郷土資料を有効活用し、郷土の歴史や、地域の遊び、風習など、土地に伝わる文化を子どもたちに伝え、地域愛を育てる活動の実施に努めます。(2・3)

☐☐図書館における子どもの読書活動☐☐

【今後の取組み】

- ① 「まちじゅうで本が読めるしもだ」を目指し、地域の身近な場所で読書ができる機会と場所の提供に努めます
 - ・読書活動の中心施設である市立図書館について、地域性を活かした文化・情報・学び・交流・くつろぎの拠点となる、「下田らしい」新図書館の整備を図ります。(4)
 - ・「まちじゅう図書館」制度の拡大、移動図書館車の復活など、子どもが身近な地域で読書を楽しめる居場所づくりを推進します。(4)
 - ・市役所他課と連携し、イベント会場などでの出張移動図書館を開催します。(2・4)
 - ・放課後児童クラブや、地域子育て支援センターへの団体貸出の推進や行事の実施など、読書環境の向上のための連携を図ります。(2・4)

② 児童資料の充実に努めます

- ・学校等における不足分をカバーし資料の有効活用ができるよう、園や学校等関係機関と相談し必要な資料の確保に努めます。(4)
- ・大型絵本や紙芝居、図鑑等、子どもの興味や関心を高める資料の整備に努めます。(4)

③ おはなし会など魅力ある行事の開催に努めます

- ・読み聞かせやおはなし会等親子で参加できる行事の実施と共に、おすすめ本の紹介や展示により、読書への関心を高める活動を充実します。(1・2)
- ・子どもの発達段階に応じた効果的な取組みを充実します。特に、ビブリオバトルやブックトークなど友人同士で読書への関心を高める取組みを充実します。(1・2)
- ・読み聞かせ講座や本の選び方講座など、保護者向け行事を企画、開催します。(3)

④ 図書館からの情報の発信に努めます

- ・市の広報やホームページ以外にも、SNSなどを活用し、子どもの読書に関する情報を発信します。また、図書館ホームページの充実を図り、インターネットによる蔵書検索やOPACの利用促進します。(4)
- ・新刊案内やブックリストの配布等、園、学校等関係機関への定期的配布を行い、図書館を身近に感じるような情報発信に努めます。(4)

⑤ 学校図書室や関係機関との連携、支援に努めます

- ・団体貸出は、施設の実情に合わせた利用しやすい体制づくりに努め、推進します。(4)
- ・調べ学習や学習内容と連携した読書資料が提供できるよう、資料の充実に努めます。(4)

⑥ 配慮を要する子ども及び保護者への支援に努めます

- ・すべての子どもが平等に読書活動ができるよう、バリアフリー図書等の整備拡充に努めます。(1・4)
- ・職員やボランティアが、障害についての理解を深めるための講習会等への参加により、適切にサービスや対応ができるよう、ソフト面での向上に努めます。(4)
- ・本や図書館が身近な場所として親しみを持てるよう、特別支援学校等への団体貸出や図書館見学など積極的に行います。(1・2・4)
- ・日本語を母国語としない保護者への支援に努め、関係機関と連携し、図書館の利用や読み聞かせの支援を行います。(1・2・3)

⑦ 図書館ボランティアとの連携、育成に努めます

- ・地区の育成会等地域住民と連携して、郷土資料を有効活用した地元について学ぶ取組を行います。(2・3)
- ・ボランティアの新規獲得に努め、ボランティア間の連携に発展する体制作りに取組めます。また、ボランティアのスキルアップを目指して講習会等の開催をします。(2・4)
- ・ボランティアの活動状況等を把握し、活動の場の提供や紹介するシステムを構築し、ボランティア活動の充実に支援します。(2・3・4)

参 考 資 料

下田市子ども読書活動推進計画（第二次計画）達成状況

目標項目		下 田 市			参 考
		実 績 (H24)	目 標	現 状 (R3)	静岡県 (R2)
本を読むことが好き だと答えた児童・生徒 の割合	幼・保	37/39人 94.9%	97%	53/61人 86.9%	-
	小学校	283/352人 80.4%	82%	301/389人 77.4%	67.2%
	中学校	138/175人 78.9%	81%	88/124人 71.0%	69.4%
	高等学校	-	-	128/175人 73.1%	61.5%
1週間に1度は家庭 で本に親しむ子ども の割合	幼・保	33/39人 84.6%	95%	44/61人 72.1%	59.2%
	小学校	307/352人 87.2%	90%	319/389人 82.3%	42.9%
	中学校	161/175人 92.0%	90%	59/124人 47.6%	29.9%
	高等学校	-	-	44/175人 25.1%	53.8%
0～6歳までに週3 回以上家庭で読み聞 かせをもらった 児童・生徒の割合	幼・保	17/39人 43.6%	20%	21/61人 34.4%	-
	小学校	191/352人 54.3%	60%	168/389人 43.2%	-
	中学校	73/175人 41.7%	50%	61/124人 49.2%	-
	高等学校	-	-	112/175人 64.0%	-

下田市子ども読書活動推進計画（第三次計画）努力目標

1 家庭における子どもの読書活動の推進

目 標		平成 24 年度	令和 3 年度	令和 8 年度
ファーストブック事業への参加割合		81.7%	78.9% (R2実績)	90%
1週間に1度は家庭で本に親しむ子どもの割合	幼・保	84.6%	72.1%	90%
	小学校	87.2%	82.3%	90%
	中学校	92.0%	47.6%	60%
	高等学校	—	25.1%	60%
0～6歳までに週3回以上家庭で読み聞かせをしてもらった児童・生徒の割合	幼・保	43.6%	34.4%	60%
	小学校	54.3%	43.2%	60%
	中学校	41.7%	49.2%	60%
	高等学校	—	64.0%	60%

2 幼稚園・保育（所）・園・認定こども園における読書活動の推進

目 標	平成 24 年度	令和 3 年度	令和 8 年度
図書資料を家庭に貸出している園の割合	—	66.7%	100%
家庭での読書活動への啓発を保護者に実施している園の割合	—	100%	100%
保護者や地域の読書ボランティアと連携した読書活動を実施している園の割合	—	33.3%	50%

3 学校における読書活動の推進

目 標		平成 24 年度	令和 3 年度	令和 8 年度
専任の学校司書を配置している学校の割合（小・中）		0%	0% 11校で2名	100%
学校図書館における図書標準を達成している学校数の割合（小・中）		29%	36.4%	80%
1か月にまったく本を読まなかった児童・生徒の割合	小学校	1.4%	3.9%	2%
	中学校	15.4%	17.7%	15%
	高等学校	—	18.9%	15%

4 市立図書館における読書活動の推進

目 標		平成 24 年度	令和 3 年度	令和 8 年度
本を読むことが好きと答える子どもの割合	幼・保	94.9%	86.9%	95%
	小学校	80.4%	77.4%	85%
	中学校	78.9%	71.0%	85%
	高等学校	—	73.1%	85%
市立図書館の児童図書の蔵書冊数（12 歳以下の子ども 1 人当たり）		24,963 冊 （12.3 冊）	26,179 冊 （18.3 冊）	22 冊
児童図書の年間貸出冊数（12 歳以下の子ども 1 人当たり）		19,804 冊 （9.8 冊）	16,229 冊 （11.4 冊）	22 冊
まちじゅう図書館への参加数		—	—	30 件

令和３年度 読書に関するアンケート集計結果
(園児・児童・生徒回答)

Ⅰ. アンケート調査先(回答数)

５歳児(園児・保護者): 61 名(下田市立保育所 1 園、下田市立認定こども園 1 園、下田市立幼稚園 1 園)

小学校 2 年児童(児童・保護者): 125 名(下田市立小学校 7 校)

小学校 4 年児童: 134 名(下田市立小学校 7 校)

小学校 6 年児童: 130 名(下田市立小学校 7 校)

中学校 2 年生徒: 124 名(下田市立中学校 4 校)

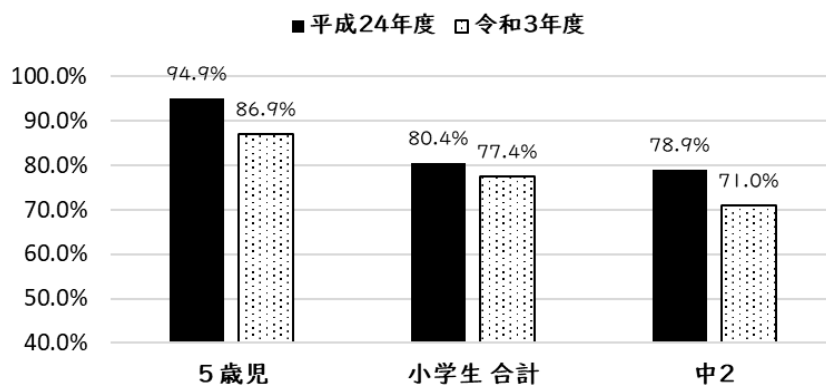
高等学校 2 年生徒: 175 名(静岡県立下田高等学校 1 校) ※下田市在住者以外含む

2-1. 集計結果(アンケートより抜粋)

(1) 本を読むことが好きですか。

	5 歳児	小 2	小 4	小 6	小学生 合計	中 2	高 2
好き	65.6% (40 人)	44.0% (55 人)	53.7% (72 人)	30.0% (39 人)	42.7% (166 人)	21.8% (27 人)	31.4% (55 人)
どちらかといえば好き	21.3% (13 人)	36.0% (45 人)	32.8% (44 人)	35.4% (46 人)	34.7% (135 人)	49.2% (61 人)	41.7% (73 人)
どちらかといえば嫌い	8.2% (5 人)	15.2% (19 人)	9.0% (12 人)	22.3% (29 人)	15.4% (60 人)	21.0% (26 人)	17.7% (31 人)
嫌い	1.6% (1 人)	4.0% (5 人)	3.7% (5 人)	11.5% (15 人)	6.4% (25 人)	8.1% (10 人)	6.9% (12 人)
無回答	3.3% (2 人)	0.8% (1 人)	0.7% (1 人)	0.8% (1 人)	0.8% (3 人)	0% (0 人)	2.3% (4 人)

本を読むことが好きと答えた割合(年度比)



(年度比較) 本を読むことが好きと答えた割合

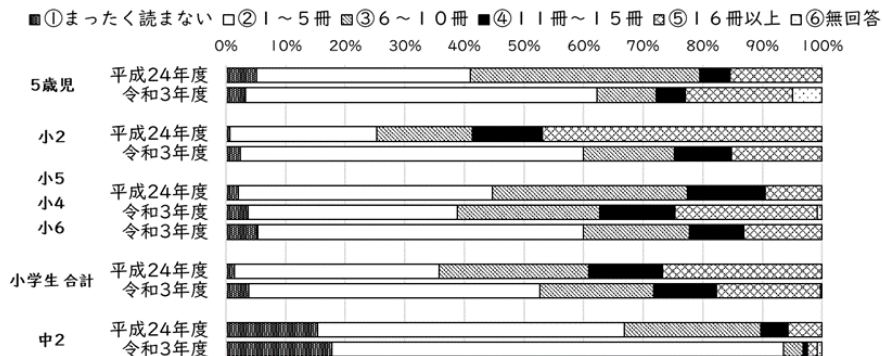
年度	5 歳児	小 2	小 4	小 6	小学生 合計	中 2	高 2
令和 3 年度	86.9%	80.0%	86.6%	65.4%	77.4%	71.0%	73.1%
平成 24 年度	94.9%	89.5%	72.6%		80.4%	78.9%	—

※令和 3 年度は「好き」「どちらかといえば好き」の合計

(2) 家で一週間に一度は本を読みますか。

	5歳児	小2	小4	小6	小学生 合計	中2	高2
はい	72.1% (44人)	76.8% (96人)	88.1% (118人)	81.5% (106人)	82.3% (320人)	47.6% (59人)	25.1% (44人)
いいえ	26.2% (16人)	23.2% (29人)	10.4% (14人)	18.5% (24人)	17.2% (67人)	51.6% (64人)	73.1% (128人)
無回答	1.6% (1人)	0% (0人)	1.5% (2人)	0% (0人)	0.5% (2人)	0.5% (1人)	1.7% (3人)

1カ月に何冊本を読みますか(年度比)



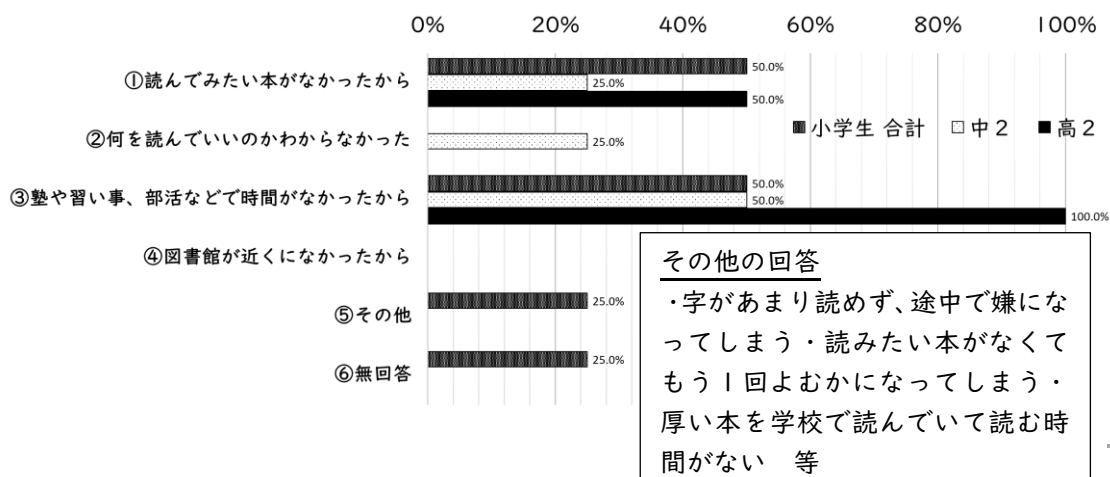
(年度比較) 1か月にまったく本を読まない割合

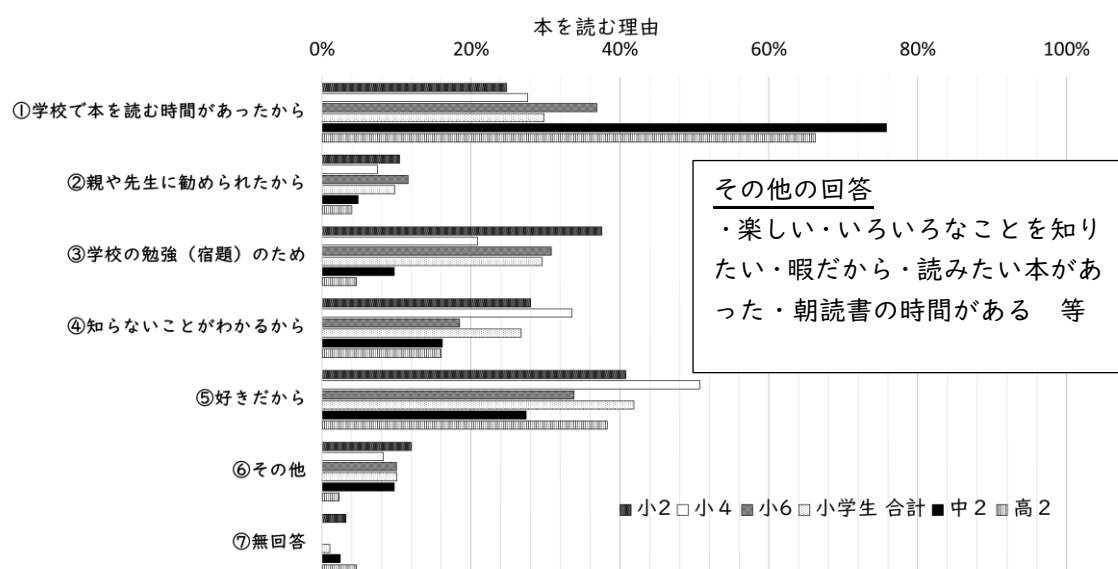
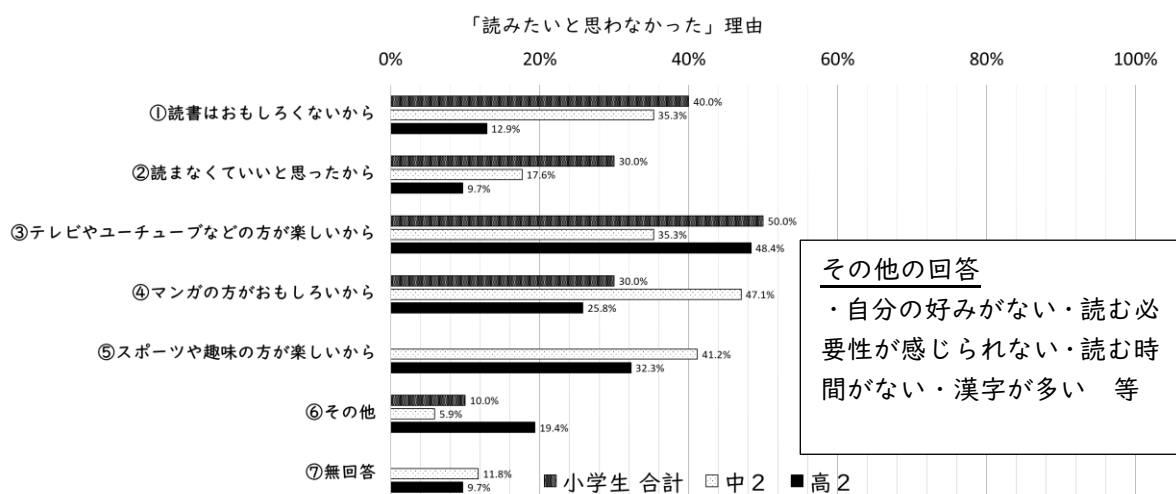
年度	5歳児	小2	小4	小6	小学生 合計	中2	高2
令和3年度	3.3%	2.4%	3.7%	5.4%	3.9%	17.7%	18.9%
平成24年度	5.1%	0.6%	2.1%		1.4%	15.4%	—

(3) まったく読まないと答えた人への質問。理由は何ですか。

	小2	小4	小6	小学生 合計	中2	高2
読みたかったけど読めなかった	33.3% (1人)	20.0% (1人)	14.3% (1人)	20.0% (3人)	18.2% (4人)	6.1% (2人)
読みたいと思わなかった	66.7% (2人)	60.0% (3人)	71.4% (5人)	66.7% (10人)	77.3% (17人)	93.9% (31人)
無回答	0% (0人)	20.0% (1人)	14.3% (1人)	13.3% (2人)	4.5% (1人)	0% (0人)

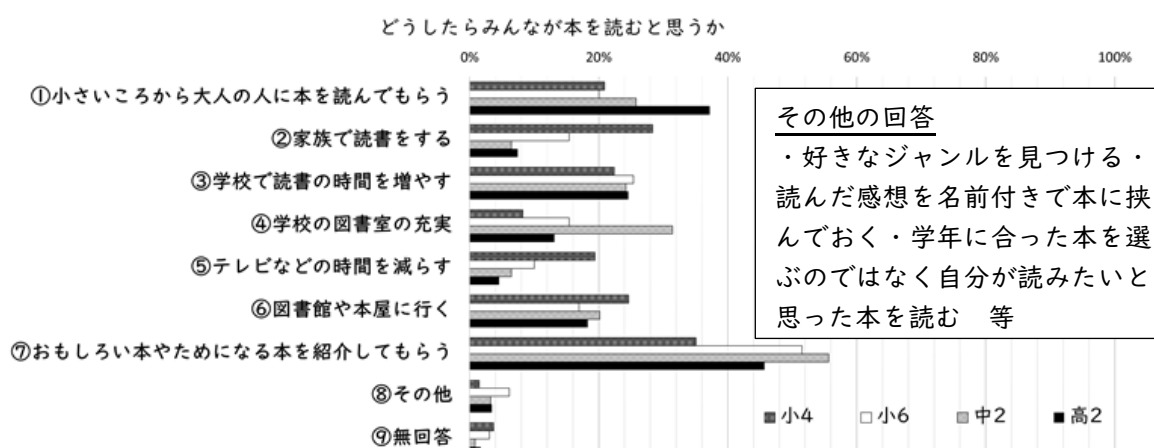
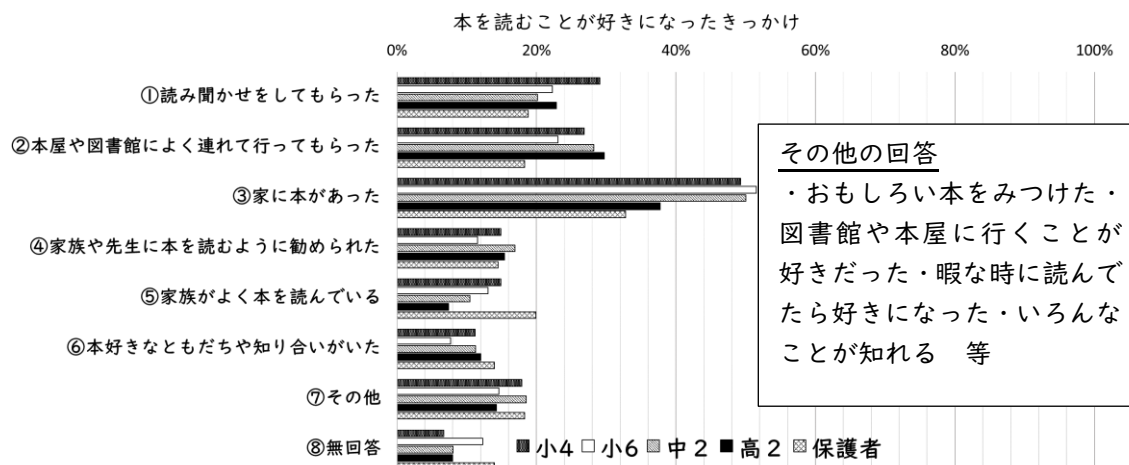
「読みたいけど読めなかった」理由





(4) 0歳から6歳までに読み聞かせをしてもらっていましたか。(保護者：お子さんに読み聞かせはしますか)

	5歳児 保護者	小2 保護者	小4	小6	中2	高2
ほぼ毎日	14.8% (9人)	6.4% (8人)	27.6% (37人)	14.6% (19人)	16.1% (20人)	26.3% (46人)
一週間に3回くらい	19.7% (12人)	17.6% (22人)	27.6% (37人)	34.6% (45人)	33.1% (41人)	37.7% (66人)
一週間に1回くらい	45.9% (28人)	40.0% (50人)	26.1% (35人)	35.4% (46人)	31.5% (39人)	25.7% (45人)
読み聞かせしてもら わなかった	18.0% (11人)	32.8% (41人)	12.7% (17人)	6.2% (8人)	15.3% (19人)	5.7% (10人)
無回答	1.6% (1人)	1.6% (4人)	6.0% (8人)	9.2% (12人)	4.0% (5人)	4.6% (8人)



(5) 下田市立図書館にどのくらい来ますか。

	小4	小6	中2	高2
一週間に1～2回くらい	19.4% (26人)	4.6% (6人)	1.6% (2人)	0.6% (1人)
一か月に2～3回くらい	17.9% (24人)	8.5% (11人)	2.4% (3人)	0.6% (1人)
一か月に1回くらい	14.2% (19人)	12.3% (16人)	6.5% (8人)	2.9% (5人)
一年に2～3回くらい	23.1% (31人)	42.3% (55人)	50.0% (62人)	31.4% (55人)
利用したことはない	15.7% (21人)	26.9% (35人)	38.7% (48人)	60.6% (106人)
無回答	6.0% (8人)	5.4% (7人)	0.8% (1人)	4.0% (7人)

※高校2年生：下田市に住む生徒の「利用したことはない」の割合は、35.7%と3割強は利用したことがないと回答。

(6) 下田市立図書館を利用したことがない理由は何ですか。(あてはまるもの全部に○)

	小 4	小 6	中 2	高 2
家が遠いから	23.8% (5 人)	11.4% (4 人)	35.4% (17 人)	41.5% (44 人)
本は学校で借りるから	9.5% (2 人)	20.0% (7 人)	25.0% (12 人)	1.9% (2 人)
本は借りずに買うから	19.0% (4 人)	22.9% (8 人)	33.3% (16 人)	34.9% (37 人)
河津や南伊豆など他の図書館に行くから	4.8% (1 人)	11.4% (4 人)	8.3% (4 人)	27.4% (29 人)
塾や習い事、部活などで忙しいから	4.8% (1 人)	2.9% (1 人)	16.7% (8 人)	17.9% (19 人)
その他	19.0% (4 人)	8.6% (3 人)	8.3% (4 人)	5.7% (6 人)
無回答	66.7% (14 人)	42.9% (15 人)	31.3% (15 人)	18.9% (20 人)

その他の回答

・下田の図書館にはだら～って読めるところが少ない。気軽に立ち寄りにくい。・自分で買ってそろえたい・行きたいと思わなかった 等

(7) 図書館で何をしたいですか。(あてはまるもの全部に○)

	小 4	小 6	中 2	高 2
本を借りたい	67.2% (90 人)	65.4% (85 人)	50.8% (63 人)	32.0% (56 人)
本を読みたい	50.0% (67 人)	39.2% (51 人)	43.5% (54 人)	32.0% (56 人)
おはなし会などイベントに参加したい	6.7% (9 人)	3.1% (4 人)	4.0% (5 人)	2.3% (4 人)
一人で勉強や調べものをしたい	20.9% (28 人)	22.3% (29 人)	32.3% (40 人)	58.9% (103 人)
友だちと本のことなどおしゃべりしたい	17.9% (24 人)	13.8% (18 人)	16.1% (20 人)	7.4% (13 人)
時間つぶし、待ち合わせに使いたい	14.9% (20 人)	19.2% (25 人)	34.7% (43 人)	16.0% (28 人)
その他	2.2% (3 人)	1.5% (2 人)	4.0% (5 人)	4.6% (8 人)
無回答	5.2% (7 人)	3.1% (4 人)	1.6% (2 人)	9.7% (17 人)

その他の回答

・友だちと勉強や本を読みたい・パソコン・静かに過ごしたい・もっとオシャレになったら嬉しい 等

(8) どのような場所に図書館があればいいと思いますか。(2 つまで○)

	小4	小6	中2	高2
バスや電車で行きやすい場所、交通の便がよい場所	13.4% (18 人)	5.4% (7 人)	26.6% (33 人)	26.3% (46 人)
気軽に立ち寄れる場所	56.0% (75 人)	65.4% (85 人)	70.2% (87 人)	63.4% (111 人)
駅の近く	3.0% (4 人)	4.6% (6 人)	13.7% (17 人)	25.1% (44 人)
学校のすぐ近く	37.3% (50 人)	43.8% (57 人)	21.0% (26 人)	21.1% (37 人)
病院のすぐ近く	6.7% (9 人)	2.3% (3 人)	4.8% (6 人)	0.6% (1 人)
公共施設のすぐ近く	3.0% (4 人)	4.6% (6 人)	5.6% (7 人)	4.6% (8 人)
スーパーマーケットやコンビニのすぐ近く	9.7% (13 人)	13.8% (18 人)	7.3% (9 人)	8.6% (15 人)
高齢者にも利用可能な平らなところ	18.7% (25 人)	14.6% (19 人)	10.5% (13 人)	4.6% (8 人)
その他	9.7% (13 人)	5.4% (7 人)	2.4% (3 人)	1.7% (3 人)
無回答	5.2% (7 人)	1.5% (2 人)	0.8% (1 人)	1.7% (3 人)

その他の回答

・家の近く、学校の近く・歩いて行けるところ・駐車場が広いところ・いろんなところにたくさんあるといい 等

(9) 図書館に望むことは何ですか。(あてはまるもの全部に○)

	小4	小6	中2	高2
もっとたくさんの本が欲しい	52.2% (70 人)	43.1% (56 人)	42.7% (53 人)	21.7% (38 人)
C DやD V Dを借りたい	22.4% (30 人)	23.8% (31 人)	20.2% (25 人)	18.9% (33 人)
ゆっくり本を読める場所が欲しい	44.8% (60 人)	34.6% (45 人)	29.8% (37 人)	17.1% (30 人)
静かに勉強や調べものができる場所が欲しい	32.1% (43 人)	26.2% (34 人)	29.0% (36 人)	41.7% (73 人)
友だちとおしゃべりできる場所が欲しい	21.6% (29 人)	23.1% (30 人)	31.5% (39 人)	23.4% (41 人)
パソコンやスマホで本を読みたい	20.1% (27 人)	16.2% (21 人)	16.1% (20 人)	10.3% (18 人)
楽しいイベントをやって欲しい	21.6% (29 人)	11.5% (15 人)	8.1% (10 人)	7.4% (13 人)
図書館でC DやD V Dを観たり聴いたりしたい	11.2% (15 人)	14.6% (19 人)	15.3% (19 人)	7.4% (13 人)

開いている時間や曜日を増やして欲しい	31.3% (42 人)	16.2% (21 人)	8.9% (11 人)	8.0% (14 人)
パソコンで調べものをしたい	20.9% (28 人)	22.3% (29 人)	12.1% (15 人)	6.3% (11 人)
図書館の人にわからないことを教えて欲しい(レファレンスサービスを受けたい)	21.6% (29 人)	12.3% (16 人)	3.2% (4 人)	1.7% (3 人)
その他	3.7% (5 人)	9.2% (12 人)	5.6% (7 人)	8.6% (15 人)
無回答	5.2% (7 人)	4.6% (6 人)	3.2% (4 人)	5.1% (9 人)

その他の回答

・子どもが自分でとれる高さに本を置いて欲しい。借りるときに緊張してしまうので、気軽に図書館の人に話しかけられるようにして欲しい。・マンガを置いて欲しい。マンガを貸し出して欲しい。・図書館の人に気軽にわからないことを聞きたい。・駐車場を増やして欲しい。・勉強スペースをもっときれいにシンプルに集中できるようにして欲しい。・もっと席が欲しい。・館内に飲食できるスペースが欲しい。

令和3年度 読書に関するアンケート集計結果
(保護者回答)

2-2. 集計結果 (アンケートより抜粋)

(1) あなたは本を読むことが好きですか。

	5歳児保護者	小2保護者
好き	26.2%	29.6%
どちらかといえば好き	41.0%	37.6%
どちらかといえば嫌い	31.1%	30.4%
嫌い	1.6%	0.8%
無回答	0%	1.6%

※「好き」「どちらかといえば好き」の合計

(2) あなたは1カ月に何冊くらい本を読みますか。

	5歳児保護者	小2保護者
0冊	32.8%	28.0%
1～5冊	59.0%	61.6%
6～10冊	4.9%	5.6%
11～15冊	1.6%	0.8%
16冊以上	1.6%	1.6%
無回答	0%	2.4%

(3) あなたが本を読むことが好きになったきっかけは何ですか。(複数回答可)

	5歳児保護者	小2保護者
小さいころ読み聞かせをしてもらった	16.4%	20.0%
本屋や図書館によく連れて行ってもらった	24.6%	15.2%
家に本があった	34.4%	32.0%
家族や先生に本を読むよう勧められた	14.8%	14.4%
家族がよく本を読んでいた	14.8%	22.4%
本好きな友だちや知り合いがいた	14.8%	13.6%
その他	16.4%	19.2%
無回答	9.8%	16.0%

その他の回答

・まんがが大好きでたくさん読み、それから本も好きになった。・好きな作家ができたこと。・子どもに絵本を借りたのをきっかけに絵本を含め本が楽しくなった。・たまたまおもしろそうな本を見つけたため。・大人になってから読むのが好きになった。・移動図書館てんとう虫が来ていた。とても楽しみだった。移動図書館が学校に来てたから。等

(4) お子さんが読書をするようなきっかけづくりをしていますか。(複数回答可)

	5歳児保護者	小2保護者
お祝いやプレゼントに本をあげる	47.5%	48.0%
自分が進んで本を読む	13.1%	12.8%
自分が読んだ本や、いいと思う本などを子どもにお勧めする	24.6%	28.0%
子どもを図書館や本屋に連れていく	47.5%	50.4%
本の読み聞かせをする	57.4%	47.2%
特に何もしていない	9.8%	11.2%
その他	3.3%	5.6%
無回答	0%	1.6%

その他の回答

・好きそうなのをまずは見せる。・読んだ本について子どもと話す。・市の図書館に2週間に一度行っていた。・祖父母からお祝いに本が贈られることが多い。・おばあさんが、子どもがもっと小さいときは読み聞かせをしてくれた。・インターネットでおすすめの本をさがして読んでいる。家でのゲームの時間が限られているので、その休憩中に読書の時間を設けている。他

(5) お子さんに読み聞かせをしてよかったことは何ですか。(複数回答可)

	5歳児保護者	小2保護者
子どもとコミュニケーションが取れる	55.7%	59.2%
子どもの集中力が高まった	6.6%	5.6%
子どもの興味の対象や言葉が増えた	36.1%	29.6%
子どもが本を好きになった	44.3%	29.6%
自分も楽しい	24.6%	20.0%
その他	6.6%	4.8%
無回答	9.8%	16.0%

その他の回答

・想像力が豊かになった。・子ども自身が親の真似をしながら自分で本を読むようになり、ひらがな、カタカナを覚えられた。・それぞれが好きな本を読んでお気に入りのページを見せたり読んでもらったりしている。そのことについて話をする。・本の感想を子どもたちと伝え合うのですが、子どもがどのように考えをもっているのか分かり考え深く思う。・知識が増えた。

(6) 読み聞かせをしない理由は何ですか。(複数回答可)

	5歳児保護者	小2保護者
忙しくて時間がない	49.2%	50.4%
何を讀んだらいいのかわからない	3.3%	2.4%
子どもが嫌がる	4.9%	1.6%
読み聞かせの必要性を感じない	1.6%	0.8%
面倒だから	3.3%	3.2%
その他	8.2%	8.8%
無回答	41.0%	0.8%

その他の回答

・本当は毎日してあげたいが、上の子の宿題を見てしまうと絵本を読んであげられる時間がない。・家にある本だけだと自分は何回も読んでいるので読みたくなったりする。・毎日、忙しく時間がない→子どもの寝る時間をおくらせないため。・子供が要求してこないから。・一人(自分)で読めるようになったから。小学生になってからは自分で読ませているから。子供がおおきくなったので。

(7) どうすれば、お子さんがもっと本を読むようになると思いますか。(2つまで)

	5歳児保護者	小2保護者
読み聞かせをする	54.1%	31.2%
家族が進んで読書をする	32.8%	36.8%
園や学校での読書の時間を増やす	8.2%	15.2%
園や学校の読書環境を整備する	4.9%	10.4%
テレビなどの時間を減らす	49.2%	33.6%
図書館へ連れていく	27.9%	31.2%
その他	3.3%	7.2%
無回答	3.3%	6.4%

その他の回答

・常に家に読みたい本があるようにする。・一緒に読書する。・きっかけは何でも良いと思うが、楽しい！と思える本に出会えるかが大切だと思う。・本人が好きな物の本をすすめる。・本を持ち帰らせて欲しい。

(8) 子どもの読書活動及び下田市立図書館に関してあなたのご意見、ご要望等お聞かせください。

【建物・設備関係】

- ・図書館の建物がもう少し明るく広ければと思います。
- ・建て替え前提のアンケートだとしたら、河津の図書館がお母さん世代の願いをかなえている場所だと思う。また、資格試験や受験生のために自習室を充実させてあげたいと思います。
- ・南伊豆の図書館がこどもの絵本コーナーがすべて子どもが手が届くところで選びやすい。下田は高いところにあり、脚立が危なく選びにくい。
- ・本が古くてあまり借りたいと思えない。新しい本を増やしてほしい。
- ・下田市立図書館の蔵書、特に子供用の本、絵本の状態がひどいのが気になっています。古い本のほとんどにシミ、虫食い、破れ、カビがあり製本の系のほつれなどからページがバラバラになっているのも多いです。ページをめくるときにカビの臭いがして、とても子どもと一緒に読む気になりません。一度、点検をして、状態のひどい本は処分をお願いしたいです。また、絵本の分類の仕方がめっちゃくちゃで探すのが大変です。絵本も作家ごとに分類してください。よろしくお願いします。
- ・子どもの目線の高さで、目につきやすく、手が届きやすい高さで表紙がなるべく見える形の展示スペースが増えるとありがたいです。
- ・駐車スペースの少なさ。

【イベント関係】

- ・子どもが小さいころ行く場所もなく家にこもりきりで毎日大変でした。月に2回とかでもいいので、赤ちゃんや未就園児の読み聞かせの会とかがあると、そこで知り合いもできるし、小さいころから本と親しむことができて良いと思う。
- ・他市の図書館では子供たちに向けて本の通帳があり、子どもたちの読書記録に大変役立っていると聞いた。下田図書館にもやっていただけたら子どもたちが利用すると思う。
- ・ボランティアの読み聞かせは子どもが興味を持って楽しく、機会が増えたらいいと思います。家庭は習い事で忙しく、ほとんど読書をしないので学校での読書時間を希望します。

【環境関係】

- ・コロナの時期ではあるがゆっくり過ごせる環境が少ない。テーブルなども少ない。河津の方が見やすく、過ごしやすい印象。
- ・下田の図書館は静かにしないといけないイメージがあります。静かに本を読める場所と子どもたちが気軽に行ける場所をわけたらいいと思います。
- ・図書館は静かに本を読む場所というイメージが強くあり、幼い子どもがいると他の利用者の迷惑にならないか等考えてしまい、行きたくても足が遠のいてしまい、読み聞かせのイベントの時から利用できません。最近ではカフェが併設されていたり、子どもが楽しめる空間がある図書館もあるようなので、常識が変わってきているように感じます。下田市にもユニークな図書館があるとうれしいです。

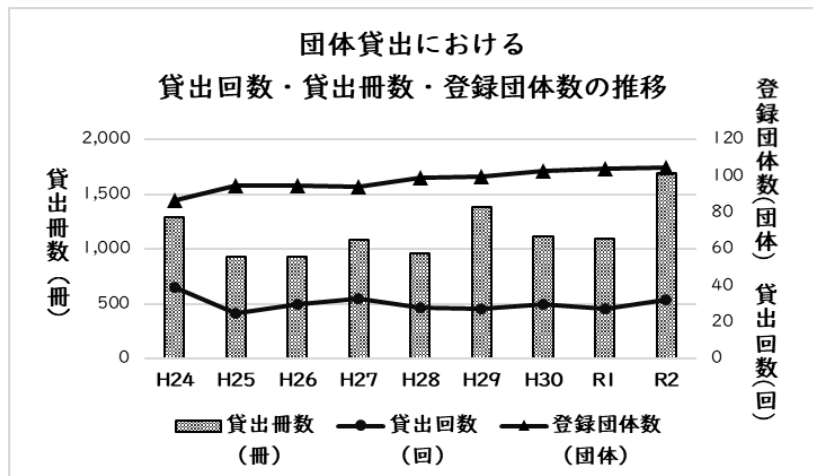
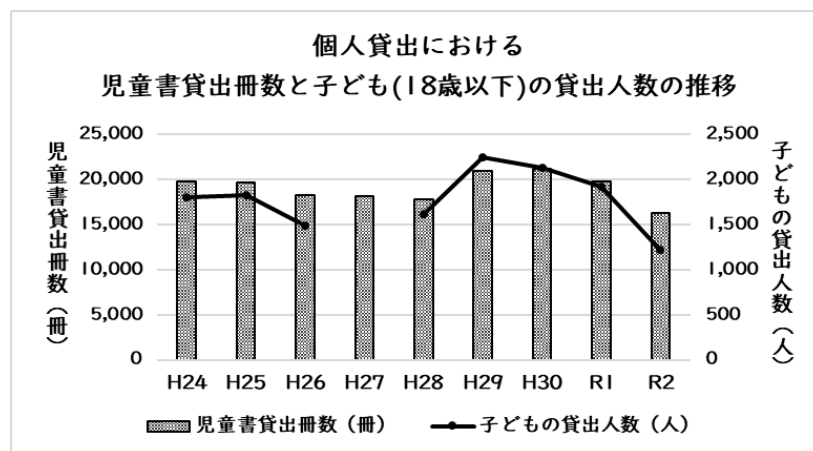
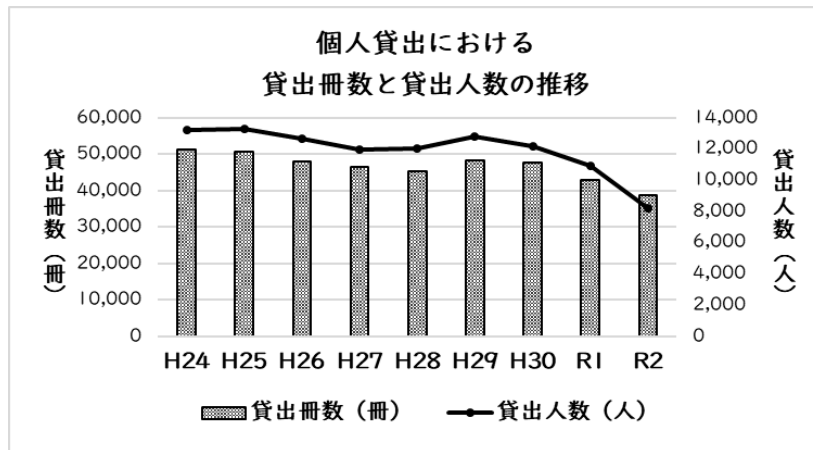
【その他】

- ・たくさん本を長い期間で借りれるのでとても助かっています。
- ・どんな本が置いてあるのか情報がよくわからない。おすすめの本や季節でこんな本があるということを知らせてくだされば、興味をもって行こうと思えるのではと思います。

- ・移動図書館があればいいなと思います。本は好きじゃなかったけど、あの車が好きで本を借りました。
- ・スーパーなどでも本を返せる場所があるといいと思う。
- ・もっと明るく開放的な場所にしてほしい。イベントや展示などいろいろなジャンルをしていただけると興味がわいていいかも。ちょっとしたカフェスペースも設けていただいて、友達と子どもと、時間が空いたら行きたくなるようなところだと嬉しいです。あとは蔵書数をもっともっと増やしてほしい。図書館が充実したまちは子どもたちの可能性も広げてくれるまちだと思います。
- ・本の検索をしやすくして欲しい。どこに何があるか、とても見にくくわかりにくい。上の段にあると、子どもだけでは取れないので子どもコーナーは身長を考えてもらいたい。
- ・DVDの貸出も多少でもあれば良いと感じる。
- ・もっと読み聞かせの時間を設けたり、本に触れる機会を増やしてあげたいと思った。
- ・図書館のおはなし会はとても素敵な内容。もっとたくさんの人に聴いてもらえたらいつも思っていました。蔵書も子どもたちに読ませたい本がたくさんあると思います。立地もですが、駐車場の整備を強く要望します。2年ほど前に駐車場で車をぶつけられとても嫌な思いをしました。それ以来ほとんど利用することができていません。子ども本人のカードも入学後作って頂いたのでたくさん利用したい気持ちはありますが、残念です。
- ・東急交差点がいつも混むので、市内の北のほうにあるといい。
- ・ヤングアダルトコーナーで、もっと海外の本を置いて欲しい。雰囲気をよくするために木の本棚にして欲しい。
- ・学校で行くチャンスが多いと子どもも行きたがるのかと思いました。子どもは図書館よりも公園を選びます。

○下田市立図書館統計

【利用統計】



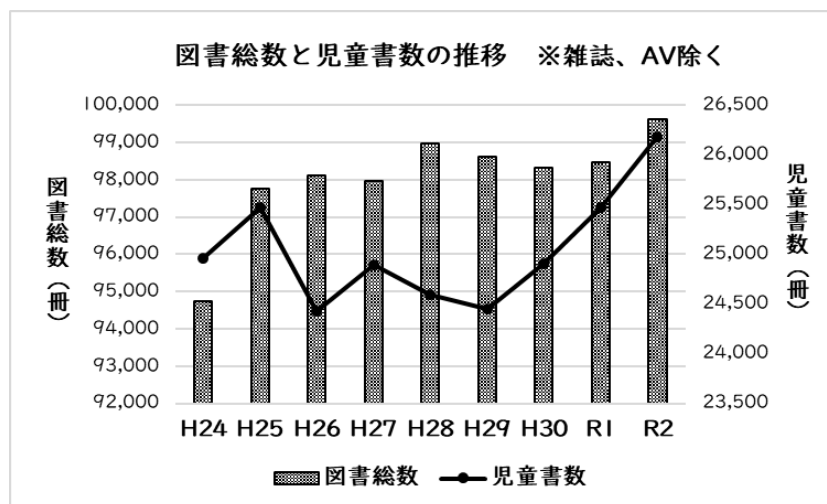
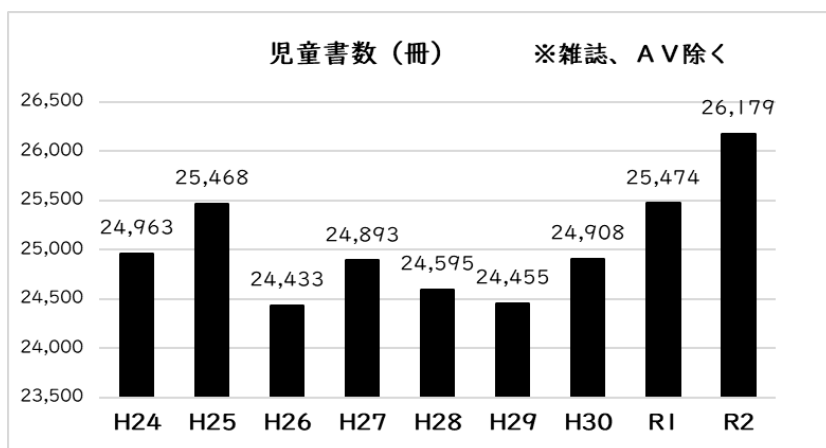
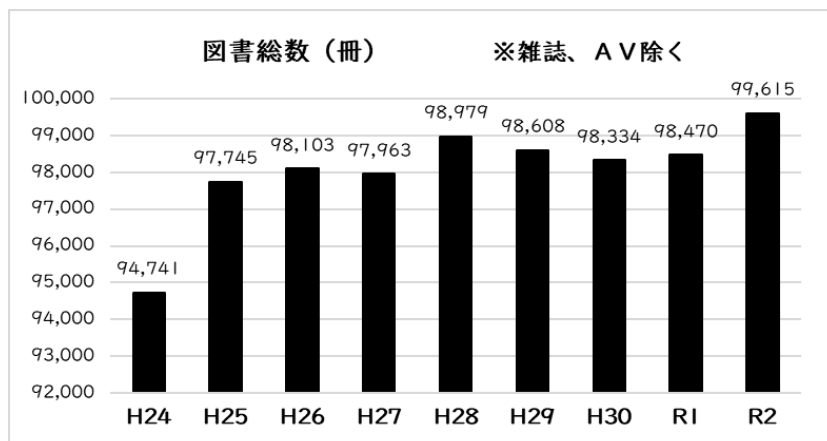
個人貸出は、全体で見ると人数、冊数ともに平成 24 年以降下降傾向。直近 2 年間はコロナウイルス感染症の影響もあるため、H24 と H30 を比較しても、貸出冊数△3,594 冊、貸出人数△1,079 人と減少している。

それに対し、児童書貸出については、同じく H24 と H30 を比較すると、児童書貸出冊数 1,401 冊、18 歳以下の子どもの貸出人数 326 人とそれぞれ増加している。

全体の貸出が減少している中、子どもに関する貸出は増加している。

また、団体貸出については、コロナウイルス感染症も影響せず、貸出冊数は増加している。学校との連携の中で、国語の授業に合わせ、並行読書に使用したり、理科や社会の調べ学習にクラス人数分の貸出など実施。

【蔵書統計】



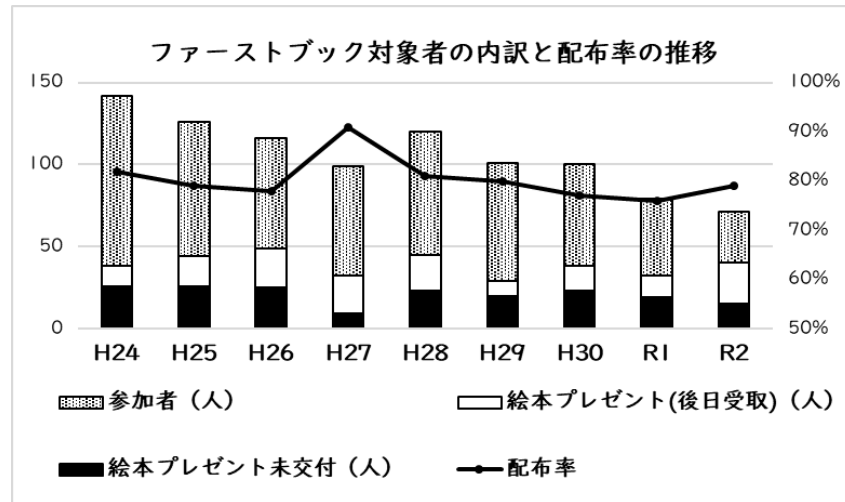
全体の図書数として、現在の図書館の収容状況から、開架、閉架合わせて10万冊程度しか収容できないこともあり、総数にあまり変化はない。

児童書は、廃棄をしていないため、冊数は増加している。

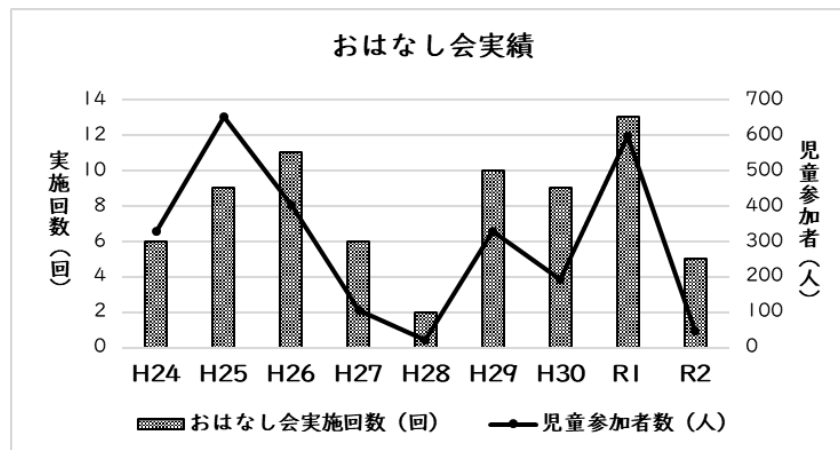
子どもたちは、いくら名作であったり、おもしろい本であったとしても、古い本を手にとろうとはしないため、新刊だけでなく、長く愛される本についても古くなったら更新することが望ましいが、予算上なかなかできていないのが現状。

R2は、新型コロナウイルス地方創生交付金による図書費の増額と、寄付金により、児童書を多く購入することができた。

【ファーストブック実績】



【おはなし会実績】



子どもの読書活動の推進に関する法律

(目的)

第一条 この法律は、子どもの読書活動の推進に関し、基本理念を定め、並びに国及び地方公共団体の責務等を明らかにするとともに、子どもの読書活動の推進に関する必要な事項を定めることにより、子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、もって子どもの健やかな成長に資することを目的とする。

(基本理念)

第二条 子ども(おおむね十八歳以下の者をいう。以下同じ。)の読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものであることにかんがみ、すべての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において自主的に読書活動を行うことができるよう、積極的にそのための環境の整備が推進されなければならない。

(国の責務)

第三条 国は、前条の基本理念(以下「基本理念」という。)にのっとり、子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的に策定し、及び実施する責務を有する。

(地方公共団体の責務)

第四条 地方公共団体は、基本理念にのっとり、国との連携を図りつつ、その地域の実情を踏まえ、子どもの読書活動の推進に関する施策を策定し、及び実施する責務を有する。

(事業者の努力)

第五条 事業者は、その事業活動を行うに当たっては、基本理念にのっとり、子どもの読書活動が推進されるよう、子どもの健やかな成長に資する書籍等の提供に努めるものとする。

(保護者の役割)

第六条 父母その他の保護者は、子どもの読書活動の機会の充実及び読書活動の習慣化に積極的な役割を果たすものとする。

(関係機関等との連携強化)

第七条 国及び地方公共団体は、子どもの読書活動の推進に関する施策が円滑に実施されるよう、学校、図書館その他の関係機関及び民間団体との連携の強化その他必要な体制の整備に努めるものとする。

(子ども読書活動推進基本計画)

第八条 政府は、子どもの読書活動の推進に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画(以下「子ども読書活動推進基本計画」という。)を策定しなければならない。

2 政府は、子ども読書活動推進基本計画を策定したときは、遅滞なく、これを国会に報告するとともに、公表しなければならない。

3 前項の規定は、子ども読書活動推進基本計画の変更について準用する。

(都道府県子ども読書活動推進計画等)

第九条 都道府県は、子ども読書活動推進基本計画を基本とするとともに、当該都道府県における子どもの読書活動の推進の状況等を踏まえ、当該都道府県における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画(以下「都道府県子ども読書活動推進計画」という。)を策定するよう努めなければならない。

2 市町村は、子ども読書活動推進基本計画(都道府県子ども読書活動推進計画が策定されているときは、子ども読書活動推進基本計画及び都道府県子ども読書活動推進計画)を基本とするとともに、当該市町村における子どもの読書活動の推進の状況等を踏まえ、当該市町村における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画(以下「市町村子ども読書活動推進計画」という。)を策定するよう努めなければならない。

3 都道府県又は市町村は、都道府県子ども読書活動推進計画又は市町村子ども読書活動推進計画を策定したときは、これを公表しなければならない。

4 前項の規定は、都道府県子ども読書活動推進計画又は市町村子ども読書活動推進計画の変更について準用する。

(子ども読書の日)

第十条 国民の間に広く子どもの読書活動についての関心と理解を深めるとともに、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高めるため、子ども読書の日を設ける。

2 子ども読書の日は、四月二十三日とする。

3 国及び地方公共団体は、子ども読書の日趣旨にふさわしい事業を実施するよう努めなければならない。

(財政上の措置等)

第十一条 国及び地方公共団体は、子どもの読書活動の推進に関する施策を実施するため必要な財政上の措置その他の措置を講ずるよう努めるものとする。

附 則

この法律は、公布の日から施行する。

下田市子ども読書活動推進計画策定委員会委員

	氏 名	所 属 等	備 考
1	萩原 和美	静岡県子ども読書アドバイザー	委員長 学識経験者
2	藤井 秀喜	下田市青少年健全育成連絡協議会会長	副委員長 社会教育関係者
3	笹本 ゆかり	下田市立下田認定こども園長	学校等教育関係者
4	矢田部 美和	下田市立浜崎小学校教諭	学校等教育関係者
5	鈴木 めぐみ	下田市立稲梓中学校教諭	学校等教育関係者
6	渡邊 モモ	静岡県立下田高等学校教諭	学校等教育関係者
7	大川 咲子	下田市立図書館協議会委員	社会教育関係者
8	鈴木 まもる	絵本作家	一般公募委員
9	堤 まなみ	保護者	一般公募委員
10	檜山 和人	学校教育課指導主事	学校等教育関係者
11	内田 陽久	学校教育課こども育成係長	学校等教育関係者

下田市子ども読書活動推進計画 ー第三次計画ー

発 行 令和４年 月

発 行 者 下田市教育委員会

編 集 下田市子ども読書活動推進計画策定委員会

問合せ先 下田市立図書館

〒415-0024

下田市四丁目７番 16 号

TEL：0558-22-0352 FAX：0558-22-5174

ホームページ： <https://lib.city.shimoda.shizuoka.jp/>